

湘南工科大学同窓会の活動概要

昭和36年 4月	学校法人相模工業学園設立 相模工業高等学校設置
昭和38年 1月	相模工業大学設置認可
4月	相模工業大学開学
11月	大学1号館竣工
昭和40年 4月	相模工業高等学校を相模工業大学付属 高等学校に校名変更
昭和41年 11月	大学2号館竣工
昭和42年 3月	相模工業大学同窓会設立(卒業生33名) 同窓会規約発効(42年4月1日) 入会金2,000円、終身会費8,000円
6月	同窓会名簿発行(昭和42年度版 6/23)
昭和44年 11月	第1回同窓会総会(11/3 1期～3期)
昭和45年 3月	同窓会名簿発行
昭和50年 10月	同窓会名簿発行
11月	第2回同窓会総会 11/2
昭和51年 10月	会報発行(第1号 10/1)以降毎年1回発行
昭和56年 10月	第3回同窓会定期総会 10/17 以降毎年開催 【援助】学生自治会名簿作成費用を同窓会が 負担(以降毎年援助)
昭和57年 11月	第9回定期総会にて規約改定、常任理事会を 次年度から設置決定 11/21
昭和58年 11月	【援助】松稜際 野菜市(20万円) 以降毎年援助(毎年30万円程度)
昭和59年 10月	【大学】部室棟完成(1階14室・2階17室)
昭和60年 3月	同窓会事務局を2号館2階に設置
12月	【寄付】テニスコート、高等学校管理棟 整備のため200万円12/19
昭和61年 12月	【寄贈】ベンチ10脚 30万円
昭和63年 11月	【寄贈】学生自治会ヘント2張と記念樹: 栃の木1本(15万円)
平成元年 4月	【大学】新学科として材料工学科開設
11月	【寄贈】学生自治会ヘント2張(24万円)、 記念樹:栃の木(15万円)
平成2年 4月	【大学】湘南工科大学へ校名を変更
11月	【寄贈】学生自治会ヘント2張(24万円) 【寄贈】創立30周年記念:中庭の時計 (135万円) 11/30
12月	創立30周年記念式典・祝賀会12/1
平成5年 4月	【大学】大学院設置
3月	【協賛】卒業記念パーティー(120万円) 以降毎年協賛
12月	【寄付】藤沢市福祉協議会愛の輪基金へ (20万円)
平成6年 11月	【寄贈】学生自治会へのテント(29万円) 【寄贈】時計付モニュメント(668万円)
平成7年 10月	【支援】阪神淡路大震災(50万円)

11月	【寄贈】学生自治会ヘント3張(59万円)
平成10年 11月	【寄贈】大講堂袖幕(100万円)
平成12年 3月	会員数15,000人突破
平成13年 4月	新学科システムコミュニケーション学科開設
平成15年 1月	【寄付】本館落成記念:掲示板(200万円)
平成16年 2月	北陸支部設立総会2/14、会長・副会長出席
平成17年 6月	【寄付】自治会・就職支援等(144万円)
9月	福島県支部設立総会9/3 会長・副会長出席 地区懇談会でOB講演(7会場)
平成18年 8月	【大学への支援】小田急・地下鉄横浜線の 広告(203万円)
9月	地区懇談会でOB講演(4会場)
11月	静岡県支部設立総会11/26 会長・副会長出席
平成19年 3月	会員数20,000人突破
8月	【大学への支援】地下鉄広告・AEDレンタル料 他(237万円)
9月	地区懇談会でOB講演(4会場)
12月	企業の取締役役を中心に第1回OB情報交換会 開催12/1
平成20年 4月	【大学への支援】ヤタイヤシ7本の植栽 (170万円)
平成20年 6月	【就職支援】SPI試験費用・就職セミナー (76万円)
8月	地区別懇談会でOB講演(本学会場のみ)
11月	千葉県支部設立総会11/15 会長・副会長と 理事2名が出席
11月	第2回OB情報交換会11/29
平成21年 3月	学内合同企業セミナーにOB参加・ 第3回OB情報交換会開催3/5
10月	【大学への支援】地下鉄と小田急の広告 (185万円)
【寄付】SPI試験補助金(50万円)	
平成22年 2月	千葉県支部親睦会2/11 会長・副会長1名、理事2名出席
4月	【大学】人間環境学科開設 【大学への支援】JR鎌倉駅・小田急広告 (198万円)
【寄付】SPI試験補助金(50万円)	
10月	第34号会報発行 (同年度からインターネット配信で配布)
平成23年 3月	卒業記念パーティーが東日本大震災を 考慮され中止
4月	【大学への支援】JR鎌倉駅・小田急広告 (170万円)
平成24年 3月	会員数22,000人突破 【大学への支援】JR鎌倉駅・小田急広告 (170万円)

クラス会やOB会がありましたら、記事を掲載しますので、同窓会事務局へご一報ください。
湘南工科大学同窓会事務局 TEL・FAX 0466-35-0588 E-mail:s.dousou@isis.ocn.ne.jp

編集後記

今年は本号で特集している、「第50期記念祭」の実行委員にも参加させていただいております。毎年家族を連れて総会に参加していますが、今年は、同期生を誘って「第50期記念祭」に参加し、昔話で盛り上がりたいて考えております。同窓会事務局にメールで事前登録すれば、会場の席を希望の人数分確保できます。何となく、出向いて成り行きで話をするより、ちょっと心の準備をして集まれると思いませんか?当日は思い出の写真を持参して展示もできますし、もしかしたら、他のグループからひよんなネタが舞い込むかも…。今から、楽しみです。開催日が近づいたら、HPのチェックや、辻堂近辺に張り出すポスターも見てみてください。では、当日お会いしましょう。

1997年 機械工学科卒業 滝澤 雅

湘南工科大学同窓会だより No.39

2015年7月30日

■発行・編集

湘南工科大学 同窓会
〒251-8511
神奈川県藤沢辻堂西海岸1-1-25
湘南工科大学内
TEL・FAX 0466-35-0588
URL <http://www.sit-dousou.com/>
E-mail s.dousou@isis.ocn.jp

湘南工科大学同窓会
同窓会だより
No.

39

平成28年度 湘南工科大学同窓会
定期総会開催のお知らせ

- 日時：平成27年11月1日11時から
- 場所：H402教室
- 議題：平成27年度会計報告、平成28年度予算、事業計画など

総会終了後、カフェレストランシーサイドで第50期記念懇親会を予定しております。是非ご参加下さい。

Contents

- 第50期記念祭のお知らせ…………… 2
- 会長あいさつ・学長あいさつ…………… 4
- 各学科の紹介…………… 5
- 支部紹介…………… 12
- OB在籍企業紹介…………… 12
- OBの近況報告…………… 13
- 「第50期記念祭」実行委員会より…………… 13
- 平成27年度 湘南工科大学同窓会
定期総会議事録…………… 14
- 湘南工科大学同窓会の活動概要…………… 16

同窓生 **24,050**人
[1966年(1回)～2014年(49回)]

機械 ▶ **9,620**人
電気電子 ▶ **6,225**人
数理 ▶ **442**人
情報 ▶ **4,267**人
マテリアル ▶ **2,020**人
コンピュータ応用 ▶ **912**人
コンピュータデザイン ▶ **465**人
人間環境 ▶ **99**人

平成27年11月1日(日)
湘南工科大学同窓会第50期記念祭

詳しくは、2ページをご覧ください。



編集・発行

湘南工科大学同窓会

〒251-8511 神奈川県藤沢辻堂西海岸1-1-25 湘南工科大学内
TEL・FAX 0466-35-0588
URL <http://www.sit-dousou.com/>
E-mail s.dousou@isis.ocn.jp

50th Anniversary

第50期記念祭開催のお知らせ

わが同窓会は、現4年生を来年の3月に50期卒業生として入会をむかえます。この機会を、同窓会主催で、祝い、また、会員相互の親睦を厚くして、今後の活動に向けて改めて団結すべく「第50期記念祭」を開催いたします。今でもつながっている同窓生、久しぶりに会いたい同窓生、皆様のお子様など同僚でお集まりいただき今の「湘南工科大学」を満喫してください。

開催日 ▶ 2015年11月1日(日)

湘南工科大学第50期記念祭に関する寄付のお願い

今回この記念イベントの開催にあたり、皆様のご厚意を賜りたく、寄付を募らせていただきます。
1口2,000円よりお願いいたします。
詳しくは本誌同封の「第50期記念祭」のご招待と寄付に関するお願いにてご確認ください。

本イベントの広告

今回のイベント広告をJR辻駅、戸塚駅、大船駅、横浜駅、江ノ電バス、神奈中バスに広告掲載の予定です。
時期につきましてはHPにてご通知いたします。ご確認ください。

お問い合わせ先

寄付に関すること

湘南工科大学 同窓会事務局内 第50期記念祭実行委員会
電話・FAX:0466-35-0588 (毎週 火・木曜日電話対応可)
メール:s.dousou@isis.ocn.ne.jp
URL : http://www.sit-dousou.com/

スケジュール・開催予定イベント

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
1 卒業生交流会	10:00~16:00		 					
会場▶レストランシーサイド1F								
2 総 会	11:00~12:00							
会場▶H402教室								
3 懇親会・「通称」投票会	12:00~14:00							
会場▶レストランシーサイド1F								
4 OB による就職相談会	11:00~12:00							
会場▶レストランシーサイド2F								
5 写真展・展示	10:00~16:00							
会場▶レストランシーサイド1F								
6 ランチタイム(ラーメン)	11:00~13:00							
会場▶センター前								

懇親会内で同窓会「通称」の投票を行ないます。

公募の趣旨

1963年(S38)相模工業大学が開学し、1989年(H1)までの26年間、この校名が使用されてきました。1990年(H2)以降名称変更され、現在に至るまでの25年間、湘南工科大学として卒業生を輩出し続けています。ちょうど「ふたつ」の校名の歴史が同じ時間刻まれたことになる節目の時です。

学生時代に過ごした校名や時代、世代の隔たりを統合する象徴として「ひとつ」の同窓会通称を持ちたいと考えました。第50期記念祭において、この「通称」を全同窓会会員から公募することにより、「自らが決めた」という意識を各自が持ち、同窓会活動をより身近なものとし、より活発な世代間交流するためのきっかけとしたいのです。

会員のみなさま方には、同じ学び舎で研究に励む現役学生から社会人へのシームレスな情報交換のネットワークの象徴としてふさわしい同窓会「通称」を考案していただけないでしょうか。たくさんの応募をお待ちしています。

公募方法

同窓会ホームページの第50期記念祭案内ページに「公募の趣旨」と共に「通称公募フォーム」のダウンロードボタンがあります。このフォームをダウンロードし、必要事項を記入の上、同窓会事務局へメール添付または郵送にて提出してください。

提出期限:8月25日(火)

※メール、郵送共に当日消印有効とします

※一人一名称の応募とします

通称の決定と発表

①第50期記念祭懇親会会場にて応募された通称を掲示(応募名称多数の場合、8月29日開催の同窓会理事会にてBEST5を選定)

②同窓会だより記念号に同封されている投票用紙に推薦通称を記載し、16:30までに投票

③11月30日までに投票結果を集計(同数の場合、同窓会会長が特別票を投じる)

④12月31日までに集計結果と決定した「通称」の発表をHPへアップ

⑤2016年1月より決定した「通称」を同窓会活動に常用使用

通称命名者への表彰と褒賞

命名者には**¥50,000分**の商品券を贈呈します。

ただし、命名者が複数存在する場合は人数割りとし、2016年11月開催予定の同窓会総会にて命名者を表彰し、褒賞を手渡します。

懇親会事前登録について

事前登録は、10月15日(木)までに同窓会事務局までメールで申請してください。一緒に参加される人数とそのグループ名(研究室、部活、サークル等)をご通知ください。代表者は同封の「第50期記念祭のご招待と寄付に関するお願い」右上の「証書番号」をお忘れなく記載ください。

懇親会内で同窓会「通称」の投票を行ないます。

公募の趣旨

1963年(S38)相模工業大学が開学し、1989年(H1)までの26年間、この校名が使用されてきました。1990年(H2)以降名称変更され、現在に至るまでの25年間、湘南工科大学として卒業生を輩出し続けています。ちょうど「ふたつ」の校名の歴史が同じ時間刻まれたことになる節目の時です。
学生時代に過ごした校名や時代、世代の隔たりを統合する象徴として「ひとつ」の同窓会通称を持ちたいと考えました。第50期記念祭において、この「通称」を全同窓会会員から公募することにより、「自らが決めた」という意識を各自が持ち、同窓会活動をより身近なものとし、より活発な世代間交流するためのきっかけとしたいのです。
会員のみなさま方には、同じ学び舎で研究に励む現役学生から社会人へのシームレスな情報交換のネットワークの象徴としてふさわしい同窓会「通称」を考案していただけないでしょうか。たくさんの応募をお待ちしています。

公募方法

同窓会ホームページの第50期記念祭案内ページに「公募の趣旨」と共に「通称公募フォーム」のダウンロードボタンがあります。このフォームをダウンロードし、必要事項を記入の上、同窓会事務局へメール添付または郵送にて提出してください。
提出期限:8月25日(火)
※メール、郵送共に当日消印有効とします
※一人一名称の応募とします

通称の決定と発表

- ①第50期記念祭懇親会会場にて応募された通称を掲示(応募名称多数の場合、8月29日開催の同窓会理事会にてBEST5を選定)
- ②同窓会だより記念号に同封されている投票用紙に推薦通称を記載し、16:30までに投票
- ③11月30日までに投票結果を集計(同数の場合、同窓会会長が特別票を投じる)
- ④12月31日までに集計結果と決定した「通称」の発表をHPへアップ
- ⑤2016年1月より決定した「通称」を同窓会活動に常用使用

通称命名者への表彰と褒賞

命名者には¥50,000分の商品券を贈呈します。ただし、命名者が複数存在する場合は人数割りとし、2016年11月開催予定の同窓会総会にて命名者を表彰し、褒賞を手渡します。

懇親会事前登録について

事前登録は、10月15日(木)までに同窓会事務局までメールで申請してください。一緒に参加される人数とそのグループ名(研究室、部活、サークル等)をご通知ください。代表者は同封の「第50期記念祭のご招待と寄付に関するお願い」右上の「証書番号」をおわずれなく記載ください。

機械工学科

自動車、ロボット、福祉医療機器などの多彩な産業分野で活躍できるように、これら機械の開発、設計、生産、管理に必要な知識と技術を、工作実習や3次元CADなどの多くの実習科目により体系的に学びます。専門分野を「生産・管理技術を学ぶエリア」「エネルギー利用技術・環境技術を学ぶエリア」「知能機械・機器を設計する技術を学ぶエリア」に区分しています。

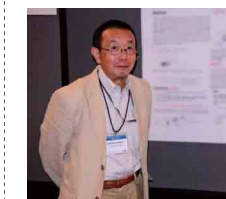
研究室紹介

井上文宏研究室



宇宙技術に関わる可動構造や移動機構、高所や災害現場など特殊環境下で活躍できる自動化機械・ロボットシステムの研究・開発をしています。

大谷俊博研究室



大谷研究室では、超音波を用いて材料の物性や機械的損傷(疲労やクリープ)を評価する手法や装置開発を行っています。

大野英隆研究室



移動ロボットの機構と制御の研究をしています。ヘビ型、歩行型、クローラ型、車輪型、壁面移動用、水陸両用、とにかく色々やっています。

加藤和弥研究室



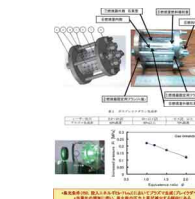
本研究室では、自動車や家電製品に使用される高精度な機械加工部品を高能率で製造できる機械加工技術を研究しています。

北洞貴也研究室



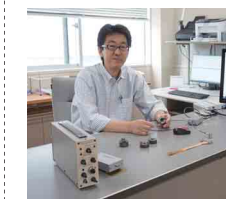
農業用水路に設置する発電用水車の研究を行っており、高効率化だけでなく経済性を成り立たせるためにメンテナンスフリーを目指しています。

佐藤博之研究室



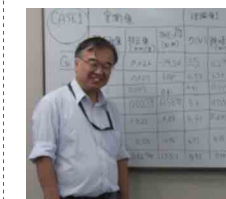
環境に優しい燃焼技術の開発をテーマに、小型ガスタービン燃焼器やレーザ着火に関する基礎研究、工学教育プログラム開発等を行っています。

田中秀明研究室



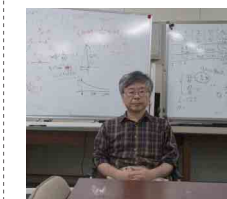
磁気や振動などの物理現象に着目し、自動車や電子機器の加工部品を高能率・高品質に生産するモノづくり技術の研究に取り組んでいます。

西田英一研究室



コンピュータシミュレーション、音響振動実験により、機械で発生する音や振動を解析し、静粛な環境を実現するための技術の研究を進めています。

野倉一男研究室



専門は統計物理、力学系です。卒業研究では、振動系の理論的な解析、特に振り子の減衰振動や強制振動の解析、数値計算を行います。

文沢元雄研究室



救命ボートの水面落下時の衝撃加速度低減の研究や竜巻の原因究明に繋がる対向置換流の粒子法シミュレーションや可視化研究を行っています。

増田隆広研究室



ロボットやエレベータをはじめ計算機で制御される機器の開発や動特性のシミュレーション等、機械工学へのコンピュータ応用の研究をしています。

村木正芳研究室



摩擦の制御による機械の高性能化・長寿命化が研究室の共通テーマです。最近では、環境に優しい潤滑油用添加剤の開発に取り組んでいます。

「機械工学科」の歴史

昭和38年の開学から機械工学科がスタート。平成15年から5年間は「機械システム工学科」に名称変更。平成5年には大学院機械工学専攻がスタートしている。平成23年以降の退職教員：平綿先生、浜松先生、田邊先生、富田先生、小田喜先生、森棟先生、石村先生。



湘南工科大学同窓会
会長 池田 英治



湘南工科大学
学長 松本 信雄

同窓会第50期記念祭の開催を祝して

本学は1963年に相模工業大学として開学し、1990年の湘南工科大学への改名を経て50年余の時間が流れ、すでに2万名を超える卒業生を世に送り出してきました。そして、1993年と1995年に大学院前期課程及び後期課程も設置し、学科、専攻の改組を経ながら、一貫して「社会に貢献する技術者の育成」をミッションに工科系単科大学の雄として発展を続けています。文部科学省の全国大学状況調査の評点では、昨年度は86点になり、多くの補助金を獲得できました。次年度は満点近くにすべく努力をしています。また、民間評価機関からもランキング表で国公立760大学中の122位になり、前回の174位から大幅に上昇しました。これも100位以内を射程に入れております。厳しく、仲良く、身につく教育を徹底し、明るい笑顔が満ち溢れたキャンパス、レポートの内容を話し合う姿、そして、退学率の3割減少、入学志願者の3割増加など前向きな結果が次々に出ています。

この長い歴史の中で一貫して本学の経営、教育に打ち込まれてきた糸山英太郎理事長・総長は本年4月に名誉理事長・名誉総長として第一線を退かれましたが、糸山育英基金への巨額の私財投入を続けられ、また貴重なご意見やご指導を続けていただいています。

今後、大事なことは、皆さま卒業生の方々が、本学に一層の愛着、誇りを感じていただき、そのご活躍により本学の名声が世の中に染み渡ることでありましょう。今回の同窓会がそのきっかけの一つになればと願ってやみません。

第50期記念祭開催にあたり

私が当時の相模工業大学機械工学科を卒業したのは昭和50年3月であり、平屋建ての実習工場や実験棟が立ち並んでいたことを思い出します。卒業後、縁あって同窓会活動に参画するようになり、平成3年より副会長、平成23年より第4代目の会長職を務めております。

この度、第50期（平成28年3月）の卒業生を迎える節目の年度に、「第50期記念祭」を開催できることは望外の喜びであります。これまでに多大なご尽力をいただいた同窓会員の皆様、大学関係者の皆様にもあらためて感謝の思いでいっぱいです。このような大きなイベントを企画・実施することは初めての試みであり、昨年の総会での承認から本格的な準備をスタートして現在に至っております。実施が難しく断念した企画もありましたが、きっと、実りある一日になることと確信しております。

今回、一番多くの企画を実施する旧称「サニー」、現「レストランシーサイド」では、事前登録制の懇親会をメインに進行します。事前登録制にしたのは、久方ぶりに顔を合わせる皆様に、限りある時間をできるだけ有意義にお使いいただくためです。何年かぶりに合う仲間専用の席をご用意いたしますのでご家族を交え特別な時間をお楽しみください。事前登録の方法は本誌2頁や、同窓会HPでご確認いただけます。また、同封の『「第50期記念祭」のご招待と寄付に関するお願い』を持参で総会で受付いただきますと会費が無料になります。

これからの同窓会には、このような同窓生と学生が関わる企画が重要と考えております。今後、2回目、3回目、そして様々なイベントを開催できますよう皆様のご協力を心からお願いする次第です。最後になりますが、当日は皆様のご参加を心よりお待ちしております。

電気電子工学科

電気工学は、エレクトロニクスの目覚ましい発展に伴い急速に多様化、高度化した工学の分野である。このような時代にできるだけ広い分野で活躍できる技術者の育成を目指している。情報通信、エレクトロニクス、電気エネルギー、総合技術の4つのエリアを設け、各人の志望に応じて学ぶことができるようになっている。

研究室紹介

池田勇研究室



種々の照明環境と、そこで働く人間が受ける生理的・心理的影響について様々な実験研究を行っている。

海老沼康光研究室



研究分野

- 環境に優しい自然エネルギーによる発電方式
- 電力機器(電力ケーブル、変圧器、回転機)における不具合や劣化の検出・診断法

大木眞琴研究室



光や電波をさらに有効に利用することをめざして、光回折格子の高精度解析やマイクロ波ホログラフィ、変分法による線状アンテナの解析などの研究を行っています。

奥田治雄研究室



家庭内外のさまざまな機器をつないで生活により役立つ機能を実現させるために、情報家電のネットワーク化の研究を行っています。

香川俊明研究室



最近の卒業研究では、加速度センサーなどの各種のセンサーと周辺の回路、センサーの信号の伝達方法や信号解析の研究を行っています。

菊地慶祐研究室



専門は流体方程式の数学理論の研究ですが、卒研のテーマとしては「交流回路解析」、「円周率の計算」等を扱っています。

櫻井勇良研究室



11期(昭和51年度)電気工学科卒業。2002年から開設し、脳科学・認知心理学を使った教育システムおよび教材の開発を行っています。

関岡昇三研究室



電力系統に落雷したときの過渡現象によって生じる雷過電圧について、現象の解明や雷害対策について研究を行っています。

成田知巳研究室



電力工学や高電圧工学が専門で、特に、電力設備の雷サージ特性、雷電荷量推定、保守合理化などを研究テーマにしています。

松本信雄研究室



平成10年以来、半導体を中心に講義し、100人以上の学生、7人の修士の面倒を見ました。現在、学長職と講義のみに専念しています。

「電気電子工学科」の歴史

昭和38年の開学時に電気工学科としてスタート。平成13年4月に電気電子メディア工学科、平成18年4月に電気電子工学科と名称変更し、現在に至る。電気主任技術者、第2種電気工事士、電気通信主任技術者、電気通信工事担任者、第一級陸上特殊無線技士などの資格・免許取得支援。

情報工学科

コンピュータの基礎的事項を学びながら、ゲーム・ロボットから脳波センサー・人工知能などの最新技術までを勉強する学科です。講義ではプログラミング教育に注力しており、ほとんどの授業に演習を取り入れることで実践的な技術者を育成しております。また、最近では次世代3Dセンターを立ち上げ、立体映像技術の応用に関して精力的な研究をしています。

研究室紹介

天野眞家研究室



天野研究室は人工知能をインターネットで結合し、便利で安全な社会、誰にでも優しい社会を実現する研究を行っています。

大谷真研究室



最先端のコンピュータプログラムの研究。OSやインターネットソフト、業務アプリ、スマートフォンアプリ等をデザイン・開発しています。

隈裕子研究室



建築物理解析に基づき、快適かつ省エネルギー性に優れた建築環境について研究しています。

小林学研究室



コンピュータに判断を行わせる人工知能(機械学習、パターン認識)及び、データ圧縮や誤り訂正符号化など情報理論の研究を行っています。

坂下善彦研究室



異なる役割を担う多数のコンピュータがネットワークを介して集まり、多彩な状況に対応できる分散・並列・協調機能を備えたシステム方式を研究しています。

鈴木誠研究室



テキストマイニングの研究を行っています。最近では、言語に依存せずに同じプログラムで単語を自動的に切り出す研究に取り組んでいます。

中上川友樹研究室



離散数学とグラフ理論を研究しています。グラフは交通網や電気回路をモデル化したものであり、コンピュータサイエンスを支える基礎分野です。

二宮洋研究室



コンピュータに知能を持たせ、人間の脳を真似た情報処理を実現するための研究、いわゆる、人工知能の実現のための研究を行っています。

二見尚之研究室



テーマは学習者が「あっそうか!なるほど!」と理解するのを支援する方法です。学生には知識・知恵の獲得能力を磨いて欲しいですね。

堀越力研究室



自然で、見やすい3D映像表示技術を主要テーマに、仮想的3D物体を実物の様に扱えるようなユーザインタフェースの研究を行っています。

三浦康之研究室



三浦研究室では、監視カメラの動体認識の研究や画像の圧縮、新しい時代のコンピュータに関する研究を行っています。

水町龍一研究室



元来数学専門。最近では教育一筋。昨年本学で、科研費(学士力の基盤としての数学的能力の評価と育成)による国際研究集会を主催しました。

吉田幸二研究室



本研究室では、遠隔教育システムの構築に取り組みCGやマルチメディア等を使いこなし、プログラミング能力も高める力を養います。

渡辺重佳研究室



現在のLSIの素子の微細化が難しい、発熱が多いなどの問題を解決する新しいシステムLSI/半導体メモリの研究を進めています。

「情報工学科」の歴史

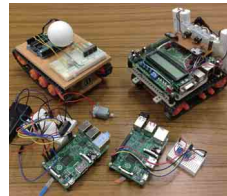
1968年4月:I・II・III(後に数理・応用数理・情報)コースをもつ数理工学科を開設。1977年4月:情報工学科に改組。入学定員は当初30人から現在は120人。カリキュラム改訂、コンピュータ更新等を重ね、近年、LEGOマインドストームや3D映像システム等も導入。

コンピュータ応用学科

視野の広いIT技術者を養成するため、CG、ゲーム、アニメ、Web、マルチメディア、異文化コミュニケーションや国際ビジネスなどの幅広い分野の授業があります。必修である少人数制のプロジェクト型実習「TPL」を通して自分に適した分野探しを行い、実践的な知識や技術を身に付けます。幅広い教育に対応するべく、様々な専門・経歴を有した教員がいます。

研究室紹介

有村光晴研究室



マイコンボードを用いた組込プログラミングを行っています。センサーやモーター、LEDの動作をUNIX上のプログラムから制御します。

内山清子研究室



飲食店等の口コミ情報から評価を自動的に判別する基礎研究や、企業情報に対する注釈機能を含む就活支援サイトの作成を行っています。

岡崎秀晃研究室



Youtubeに数動画アップしています。
例
https://www.youtube.com/watch?v=p3TiQ4bPk_U

斉藤隆研究室



音声を用いたやさしいインターフェースをテーマに、音声認識・合成等の情報処理とそれらの実分野への応用に関する研究を行っています。

高橋宏研究室



自動車を対象に「何気なく注意したくなるソフトな警報手法」を研究しています。シミュレータで視線計測しながら、効果を検討しています。

橘俊宏研究室



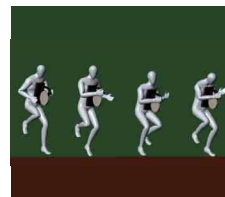
進化計算を用いた最適化問題解法に関する研究を核に、モバイル端末による観光情報支援などコンピュータを応用する研究を行っています。

ドン・メイビン研究室



短期間で語学を体感的に学ぶため、母国語以外で効果的なコミュニケーションをとるための研究を行っています。

長澤可也研究室



CG、ゲーム制作を学び、それを活用、国宝「一遍上人絵伝」の踊り念仏CG復元、永福寺CG復元、バリアマップ構築などを行っています。

中野秀夫研究室



非線形システムのモデリングとシミュレーションを行い、システムの動的な振舞いを調査しています。

本多博彦研究室



環境音を利用した新たなインターフェースの研究を行っています。TPLでは映画やプロジェクションマッピングを展覧会などに出品しています。

牧紀子研究室



いかに考えさせるか？いかに気づかせるか？という問いに取り組みながら、ICT技術を活用したデジタル学習教材を開発する研究を行っています。

湯浅将英研究室



人と楽しく会話できる、コミュニケーションを豊かにできる擬人化エージェントやロボットを作成し社会に役立てることを目指します。

ユークリア・ドネリ研究室



インターネットで外国言語(CALL)を勉強しながら、第二言語教育(SLA)の研究を行っています。

渡部英雄研究室



渡部研究室では、アニメーション映画制作だけでなく、セルライクな3DCGアニメやゲームなどのコンテンツ制作研究もやっています。

「コンピュータ応用学科」の歴史

平成13年4月：「システムコミュニケーション工学科」として定員75名で創設。平成18年4月：「コンピュータ応用学科」に名称変更。平成27年度の定員は100名。退職教職員：鯉淵先生、松岡先生、日高先生、郡司先生、ハフ先生、戸田先生、中山さん、今道さん、日比さん。

総合デザイン学科

商品開発に必要な企画・デザイン・設計の総合力を講義と豊富な実習により実践的に学びます。3次元CADや3Dプリンターなどを活用してプロトタイプモデルを作り、使いやすさなどの確認をして実際の製品開発につなげていきます。プロダクト、ロボティクス、空間の3つのエリアを有しており、デザイン系および工学系の教員が連携指導するシステムが特徴です。

研究室紹介

赤木良子研究室



研究分野はドイツ近代建築史で、特にブルーノ・タウトという建築家の描いたユートピアの建築スケッチを研究テーマにしています。

伊藤康之研究室



光と音のデザインをテーマとして、インテリア照明やデジタル音楽の制作、音の信号でロボットや照明機器を制御する研究を行っています。

尾崎文夫研究室



人に役立つロボティクスとして、アンドロイド「地平アイコ」や高齢者見守りロボットなど人の動きを認識して動くロボットの研究をします。

木村広幸研究室



最近の研究テーマは、マイクロ工作機械およびマイクロファクトリで、今年の卒研生は5名です。ぜひ、第50期記念祭でお会いしましょう。

小谷章夫研究室



読みやすいフォントや快適な自転車をテーマにして、デザインとテクノロジーを融合した感性デザイン学の分野で研究を行っています。

高野修治研究室



明日の生活に役立つ魅力的な製品を作るために、先進技術とデザインを融合させた新しいプロダクトデザインの研究を行っています。

中尾寛研究室



この研究室では、身体的スケールから建築的スケール、ランドスケープのスケールまでのあらゆる空間・環境デザインの研究を行っています。

水谷光研究室



今年は、3回目の卒業研究生を持つことになりました。新しい学科で「デザイン」も加味した研究にチャレンジしていきたいと思っています。

「総合デザイン学科」の歴史

平成15年4月：機械デザイン工学科設置、平成21年4月：コンピュータデザイン学科に名称変更、平成26年総合デザイン学科に名称変更。退職教員：和田先生、北原先生、平綿先生、勝尾先生、下田先生、土屋先生、小宮(石川)先生、藤本先生、片岡先生、山砥先生、藤原先生。

人間環境学科

安全で快適な暮らしに役立つテクノロジーと創造力を身につけることを目標としています。「生体と医療」「健康とスポーツ」「生活と環境」の3つの専門分野で構成され、生命の仕組み、医用技術、高性能なスポーツ用品、環境エネルギー問題を総合的、実践的に学んでいます。

研究室紹介

宇郷良介研究室



技術のメリット／デメリットを定量的に評価し、モノ作りや生活に活用する際の適正性を評価する手法を研究。

木枝暢夫研究室



セラミックスや金属の微粒子・薄膜を溶液原料から合成するプロセスで、特異な微構造を発現させて機能性を高める研究をおこなっています。

デイヴィット・ハイル研究室



波乗りの科学と環境。サーフボードなど海に対する製品の設計・製作を通じて、素材や製品の特性を研究するとともに、海洋環境について考えます。

野上佳恵研究室



ヒトを対象とした研究を行っており、健康や運動パフォーマンスと身体の生理学的応答に関する様々なテーマに取り組んでいます。

野中誉子研究室



素材や構造の機械的特性と、ユーザの身体的・心理的特性を考慮しながら、スポーツ用品や福祉用具の最適設計や評価に取り組んでいます。

保坂良資研究室



保坂研究室ではいくつかの大学附属病院と共同で、患者や薬の取り違えなどのヒューマンエラーから命を護るシステムを開発しています。

眞岩宏司研究室



電気熱量効果を利用した新規冷却素子の開発と環境発電（エネルギーハーベスト）の研究を行っています。

宮坂武寛研究室



血液をきれいにするために必要な技術や、血液に酸素を供給する技術といったような生体に関連する技術の研究を行っています。

武藤昌図研究室



当学唯一の生物医学系研究室です。細胞やタンパク質の試験系を使い、新しい生物活性物質の探索や、がんなどの制御法を研究しています。

森井亨研究室



スポーツ用具に多く用いられる繊維強化プラスチック（FRP）。そんな素材を効率よく成形・利用するために必要な技術を開発しています。

「人間環境学科」の歴史

平成22年：人間環境学科設置。退職教員：天野先生、秋山先生、山下先生、谷本先生。

総合文化教育センター

視野狭窄に陥らないバランス感覚ある社会人を育成するため、幅広いリベラルアーツ教育を行います。人や情報が国境を越えて行き交う今日のグローバル化時代では、狭い専門領域を超えた学際的教養が不可欠です。経済、国際関係、法律など社会科学的な教養はもちろんのこと、外国語教育、異文化理解、教育実習、学生の健康維持と生涯スポーツにも力を入れています。

研究室紹介

市山雅美研究室



戦前期の中等教育段階の学校の生徒たちの、部活動や現在でいう生徒会の活動について、校友会雑誌などの史料を用いて分析しています。

岡田珠江研究室



教職課程の運営と心理学系科目が担当です（専門分野は学校臨床心理学）。学校で活躍している先生方と協働していきたいと願っています。

是石直文研究室



スポーツにおける技術の意義や選手の身体特性について研究しています。また、最近は運動能力と生活習慣についても調査しています。

鈴木栄研究室



英語教育が専門です。学習者の考え方やモチベーションに焦点をあてた研究と、授業改善のためのアクション・リサーチをおこなっています。

榊淳一研究室



野球の指導法、特に野球選手がプレー中に様々な情報を獲得、処理し、自分の行うプレーを瞬時に決断する中身について研究を行っています。

長谷川将規研究室



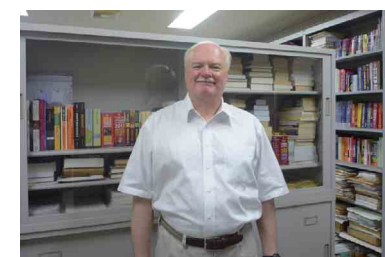
経済と安全保障の関係に注目しながら、日本、米国、中国、インド、ASEAN諸国を中心とするアジア太平洋の安全保障を研究しています。

平山勉研究室



日本経済史を研究しています。最近では、地方企業の株式に投資する人たちに注目しながら、地域経済の盛衰を長期的に分析しています。

ブリントン・スタット研究室



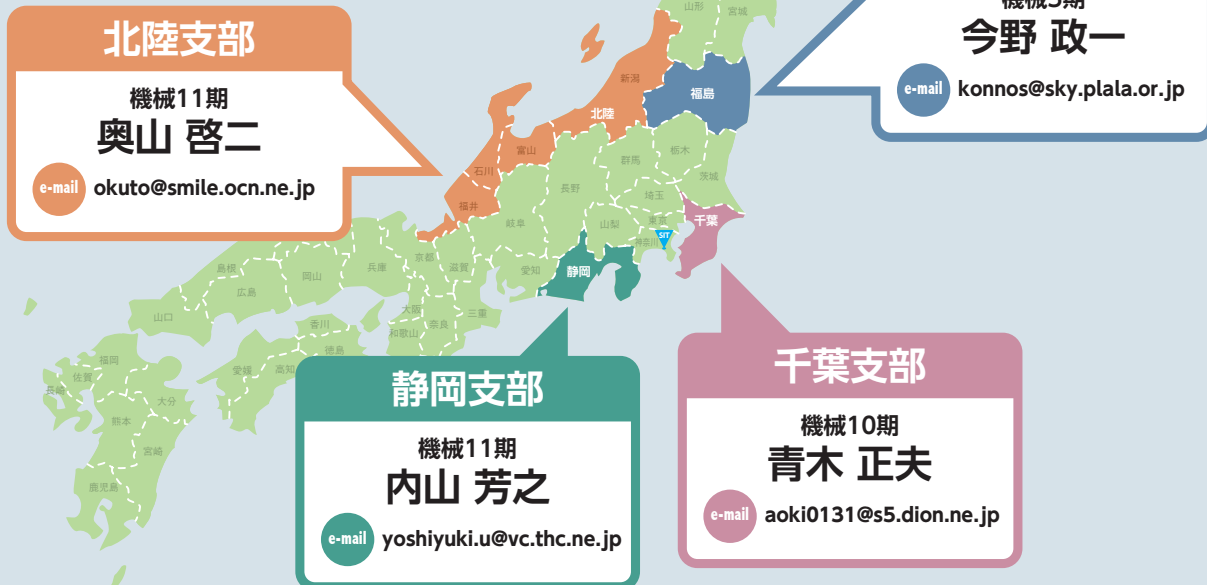
日米関係について、核兵器使用決断についての文献研究と両国の中等教育における考え方の違いなどについて比較研究をおこなっています。

「総合文化教育センター」の歴史

平成9年に教養課程から総合文化教育センターに名称変更。平成27年に英語名称をCenter for the Liberal Artsに変更。退職された主な先生：鶴間先生、上野先生、田坂先生、浮田先生、栗原先生、芦原先生、上原先生、生熊先生、佐藤先生。

湘南工科大学同窓会支部紹介

現在、湘南工科大学同窓会では下記4支部でも活動しております。
「辻堂が遠い」と疎遠がちになっている皆様もお近くの支部代表にご連絡いただき、
現在の状況や、大学に関するご質問等をご相談ください。
新規支部立ち上げのご連絡も大歓迎です。



Enterprise introduction

OB在籍企業紹介

この50年間20,000人を超える卒業生を輩出し、様々な企業のいろいろな分野で相工大・湘工大魂を発揮されています。
ここでは、ホントに一握り、また簡単ではございますが、ご活躍の凛々しい横顔をご紹介します。

アルバックテクノ株式会社
http://www.ulvac-techno.co.jp/
G-CIP本部 茅ヶ崎CIPセンター 所長
水島 崇裕
昭和60年卒業(機械工学科)



当社には卒業生が20名います。その中でも年寄りの部類に入る私は入社から30年をこの会社で過ごしました。昨年は設計センターの設立を行い7月からは技術に戻って真空装置改善への取り組みを図っていますが日常に慣れることなく生涯勉強を心に頑張っています。

三木プーリ株式会社
http://www.mikipulley.co.jp
総務部人材開発G グループリーダー
近藤 一広
昭和61年卒業(電気工学科)



三木プーリ株式会社は、産業機械向け伝動機器の開発・販売・製造を行っている総合メーカーです。伝動機器とは、動力を伝える部品で、動くものすべてが当社のフィールドです。また、新卒5年以内の離職率0%で働きやすい環境で、皆さんの先輩は14名在籍しております。

新栄商工株式会社
http://www.ss-k.co.jp/
営業部長
星野 弘嗣
昭和61年卒業(電気工学科)



多様化する社会的ニーズ。私達はそれに柔軟な姿勢で応える事を責務として、産業の自動化、省力化に貢献してまいりました。私達はどの様な状況下においても全てのお客様から信頼される企業で有る事を目指しております。

株式会社吉岡精工
http://www.yoshioka.co.jp
生産部
大野 恭平
平成20年卒業(機械システム工学科)



2008年卒業の大野です。私は現在、(株)吉岡精工という企業で半導体関連の仕事をしています。中でも私の担当しているのはフランジというものを加工しています。普段の生活では考えられない精度の部品で“0.001mm”単位での作業が必要です。難しい作業ですが、出来た時の喜びを感じながら仕事をしています。

OBの近況報告

春の熱海にて

昭和42年3月卒業(機械工学科)

露木 光夫

平成27年3月18日に一泊で行ってきた熱海旅行について報告します。写真のように、大橋先生、浜松先生、富田先生、石村先生、木村先生と私の6名が久しぶりで集まりました。石村先生がこの3月で退職されると卒業生の教員は大学内に4名のみになってしまうと聞いて、時の移り変わりをしみじみと感じました。ともあれ、ゆっくりと温泉につかり、料理を堪能しながら宴会となりました。話は、在職時代に300名を超える入学者が続き、卒研生も1研究室あたり20名を超すことがたびたびだった機械工学科について。当時は研究機材の慢性的な不足に悩まされもしましたが、エネルギーな学生たちと一緒に取り組んだ結果が、卒業後に沢山の人のネットワークを構築できたように思います。



小雨の残る空模様ではありませんでしたが、貴重で懐かしい時間を過ごすことができました。

学生時代と変わらないな～!!

昭和52年3月卒業(機械工学科)

古川 賢一(第一鉄工)

還暦を機に5名が30数年ぶりに集まることになりました。澤潟研(倉橋、立石、古川)と黒坂研(木村、高柳)です。北海道の帯広から羽田に降り、そして横浜駅で高柳・木村と待ち合わせ。顔がわかるか不安でしたが、3人とも会った瞬間、「変わらないな～」。高柳が準備してくれたお弁当と木村が用意したアルコールを飲みながら踊り子号で伊豆高原へ、途中の熱海駅で立石が静岡から合流、駅に着くと倉橋が高級車で待っていてくれた。役割なんか決めていないのに、みんな「阿吽の呼吸」で、妙に居心地がいい。いちばん変わっていないのは、学生時代「とっつあん」と呼ばれていた立石だ。温泉に入って、食べて、飲んで、歌って、話して、笑って、あっという間に朝を迎えた。いつの間にか、毎年会おうということになった。次の幹事は私、ぜひ、みんなに北海道に来てもらおう!



Than operation committee.

「第50期記念祭」実行委員会 より

1963年(S38)相模工業大学として開学した4年後、私たちの先輩である第1期卒業生のご尽力により同窓会が設立されました。「相模工業大学」として1989年(H1)までの26年間、その後「湘南工科大学」として現在に至るまでの25年間、卒業生が自主運営する形で同窓会活動が継続され、来年には第50期生を同窓会会員として迎えることになります。

現在、私たちが社会人として活動できているのは、現役時代の恩師の教えや卒業してからの先輩方からのアドバイス、後輩たちとの交流によって形づくられてきたといっても過言ではないと思うのです。社会に出てからのこれらの交流は、時に自分の抱える仕事課題や心の悩みを解消してくれたり、自分だけでは開拓できない人とのつながりを得ることができたりします。私たちが体感してきた「湘南工科大学で学んだから今の自分がある」「湘南工科大学を卒業してよかった」という想いを後輩へも同窓会活動を通じて承継しなければならないと考えています。

学生時代には先生、先輩、後輩というお互い異なる立ち位置でしたが、卒業し社会人となれば違います。年代問わずお互いの持つ能力を尊重し合い、ネットワークを構築し、成長し合う関係に変わります。この「第50期記念祭」が湘南工科大学卒業生間の継続性ある情報交換の場として活用いただければ幸いです。



第50期記念祭 実行委員長 機械21期 **加藤 誠司**

卒業生の皆様、第50期記念祭でお会いしましょう!
実行副委員長 機械11期 **木村 広幸**

学生時代にタイムスリップ!? そのお手伝いができ、ありがとうございました。

実行委員 情報19期 **南坂 光男**
青春の“ひとコマ”に再度、ふれてみませんか?

実行委員 電気7期 **高明 正治**
学生諸君へ。良く学び、良く遊び、良き友と世界へ羽ばたけ! 諸先輩方へ。大学で懐かしい一時を楽しんでください。

実行委員 機械25期 **土肥 義和**
とても貴重な経験ができました。11/1が楽しみです。

実行委員 機械32期 **滝澤 雅**
記念祭が、久しぶりに顔を合わす場になれば、うれしい限りです。 実行委員 機械35期 **高橋 泰久**



平成27年度 湘南工科大学同窓会 定期総会議事録

日時 2014年11月2日(日) 11:00~12:50

会場 湘南工科大学 本館 H404教室
(糸山英太郎記念教育研究総合センターA207教室より当日開催教室変更)

1 開会の辞：池田勇

2 会長挨拶：池田英治

同窓会会長として3年が経過した。昨年度、大学側よりホームカミングデー（以下略称：HCD）の同窓会主催での開催提案を受けしたが「準備期間が不足」等の理由で実現には至らなかった。大学入学者が激減と言われている2018年問題について卒業生、在学生間の交流を活性化し、学生の確保に協力してほしいとの大学側からの要請もあり今後の課題と受け止めている。昨年度、各部OB会のレポートを同窓会ホームページ（以下略称：HP）に掲載した。個々に活動している同窓生交流を活発とするためにHPを活用してもらい同窓生の輪を広げてゆきたい。活動情報あれば同窓会事務局へ一報を。



池田英治会長による挨拶

3 議長団選出：議長 青木正夫

書記 穴倉光夫、加藤誠司



青木正夫議長による議事進行

4 議事

1. 報告事項

(1) 湘南工科大学評議員報告

報告者：平綿勝彦（新井和吉欠席による代理）

糸山英太郎育英基金に4億の寄付が追加され計9億と

なる。平成26年度の高校入学者604名、大学入学者520名。大学入学者のうち付属高校からの進学者は13名である。平成27年度予算、カリキュラム変更、規程改定についての報告がなされる。糸山総長近日退任との情報提供あり。後任については不明。詳細な議事録、配布資料は新井評議員にて保管。

(2) 平成26年度事業報告 報告者：池田英治

① 理事会・評議員会の開催について

理事会は定時4回＋臨時2回＝6回、評議員会2回が開催された。※各会議の詳細は、別途配布資料「理事会議事録」「評議員会議事録」を参照。

② 会報発行について 報告者：滝澤雅

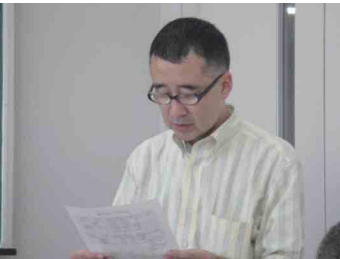
「同窓会だより38号」のHP掲載を実施。
HPへ掲載する同窓生交流情報の提供を乞う。

③ 助成・援助について 報告者：土肥義和

松稜祭実行委員会へピンゴ景品費用として助成。
鎌倉駅大学広報看板、小田急車内広告を掲載。本年度については予算案の項でも説明するが鎌倉駅看板のみ継続し、小田急広告は廃止する。

(3) 平成26年会計報告 報告者：土肥義和

終身会費納付者は卒業生400名に対し99名。入会金納付者は新入生500名に対し246名。
大学・学生への援助として、JR鎌倉駅看板約53万円、小田急車両広告126万円を支出した。また、松稜祭開催期間変更により、本会計年度に2回分の松稜祭援助金を支出した。



土肥義和理事による会計報告

2. 協議事項

(1) 平成27年度事業計画(案)

① 第50期卒業記念イベント開催について

報告者：加藤誠司

平成27年度卒業生が50期目の節目にあたるため、同窓会として記念イベントを実施したい。本総会にイベント内容および予算案を提示するため予備的に実行委員会を立ち上げ5名のメンバーにて計画案を作成した。



加藤誠司理事による事業計画報告

平成26年度 会計報告									
1. 収入の部									
大 科 目	小 科 目	予 算	決 算	予算-決算	備 考	単位：円			
会費収入		4,000,000	3,833,030	▲ 366,970					
	終身会費	1,500,000	1,199,760	▲ 300,240	99人				
	入会金	2,500,000	2,433,270	▲ 66,730	246人				
利息収入		2,000	7,171	▲ 5,171					
前期繰越金		49,654,475	49,654,475	0					
雑 収 入		50,000	44,147	▲ 5,853	ランメン売上げ他				
合 計		53,706,475	53,338,823	▲ 367,652					
2. 支出の部									
大 科 目	中 科 目	予 算	決 算	予算-決算	備 考	単位：円			
事 業 費		4,800,000	5,027,592	▲ 227,592					
	会報作成費	300,000	126,000	▲ 174,000					
	会報送付費	800,000	981,303	▲ 181,303	送料16,303人分及び会報制作費				
	卒業記念支援	1,000,000	1,000,000	0	卒業記念パーティ代寄付				
	大学・学生への援助	2,000,000	2,920,289	▲ 920,289	JR鎌倉駅(1477,360) 小田急車内(941,929,000) 松稜祭実行委員会補助(497,311) 松稜祭実行委員会補助(516,829)				
	就職活動への援助	500,000	0	500,000	学生への援助				
		0	0	0	SP試験				
	支部設置準備費	200,000	0	200,000	就職セミナー				
		0	0	0	地区別懇談会費				
		0	0	0	教職OB懇談会費				
運 営 費		1,900,000	1,785,702	114,298					
	総会費	200,000	396,703	▲ 196,703	定例会費、同窓会費台				
	諸案内発送経費	150,000	82,156	▲ 67,844	終身会費入金案内(49,520) 入会金入金案内(32,636) 評議員会開催通知 送料等				
	会議費	500,000	329,691	170,309	理事会・評議員会 (内交通費152,000)				
	庶務費	100,000	88,460	11,540	後援会との懇談会等				
	雑経費	450,000	446,872	3,128	入学式、卒業式用花代他 インクカートリッジ				
	事務用費(人件費等)	500,000	531,820	▲ 31,820	コピー用紙・PC更新ソフト代 並にアルバイト代				
繰越金		47,000,475	46,525,529	474,946					
合 計		53,706,475	53,338,823	367,652					
監 査 報 告									
収支決算監査の結果、その適正なることを認めます。									
平成26年10月31日									
監 査 人 木村 辰 夫									
監 査 人 三 富 久 永									

※記念イベント実施計画および各内容の予算については、別途配布資料「湘南工科大学第50期卒業記念イベント(仮称)Ver.3」を配布した。

② 会報発行について 報告者：加藤誠司

「同窓会だより50th記念号」として編集増頁し、紙媒体として同窓生へ郵送を計画している。

③ 助成・援助について 報告者：土肥義和

(2) 平成27年度予算(案) 報告者：水島崇裕

※例年ない活発な質疑応答を経て、事業計画および予算案は、満場一致にて承認された。

平成27年度 予算(案)									
1. 収入の部									
大 科 目	小 科 目	今年度予算	前年度予算	前年差	備 考	単位：円			
会費収入		4,000,000	4,000,000	0					
	終身会費	1,500,000	1,500,000	0					
	入会金	2,500,000	2,500,000	0					
利息収入		2,000	2,000	0					
前期繰越金		46,525,529	49,654,475	▲ 3,128,946					
雑 収 入		50,000	50,000	0					
合 計		50,585,529	53,706,475	▲ 3,120,946					
2. 支出の部									
大 科 目	中 科 目	今年度予算	前年度予算	前年差	備 考	単位：円			
事 業 費		18,600,000	4,600,000	13,999,999					
	会報作成費	150,000	300,000	▲ 150,000					
	会報送付費	1,000,000	800,000	200,000	14,326人(126年9月末現在)				
	卒業記念支援	1,000,000	1,000,000	0	卒業記念パーティ寄付				
	大学・学生への援助	800,000	2,000,000	▲ 1,200,000	JR鎌倉駅(529,200円) に現示看板 (小田急車内現示は解約) 自治会・学生への援助 松稜祭実行委員会				
	50期卒業記念(案)	15,000,000	500,000	0					
	就職活動への援助	500,000	500,000	0					
	支部設置準備費	200,000	200,000	0					
運 営 費		1,700,000	1,900,000	▲ 200,000					
	総会費	100,000	200,000	▲ 100,000					
	諸案内発送経費	150,000	150,000	0	終身会費入金案内 入会金入金案内 評議員会開催通知等				
	会議費	400,000	500,000	▲ 100,000	理事会 評議員会				
	庶務費	100,000	100,000	0					
	雑経費	350,000	450,000	▲ 100,000					
	事務用費(人件費等)	600,000	500,000	100,000	主にアルバイト代				
繰越金		30,235,529	47,000,475	▲ 16,770,946					
合 計		50,585,529	53,706,475	▲ 3,120,946					

Reduction and exemption

卒業生子女等の入学金・授業料の減免制度について

平成24年度入学者から、本学卒業生の子女、卒業生・在学生の兄弟姉妹に対して修学上の便宜を図るため、入学金と授業料の減免制度を設けています。

みなさまのご家族が本学へ進学される際に是非お役立てください。

※入試日程は大学ホームページをご覧ください。

優遇制度の内容

対象者	・ 卒業生の子女 ・ 卒業生の兄弟姉妹 ・ 在学生の兄弟姉妹
特典1	対象者が本学に入学し、学費負担者から申請があった場合、入学金20万円のうち、10万円を減額します。
特典2	年間授業料から10万円（4年間適用）を減額します。